

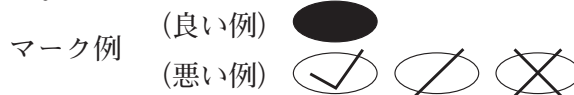
令和8年度（令和7年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
美術

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

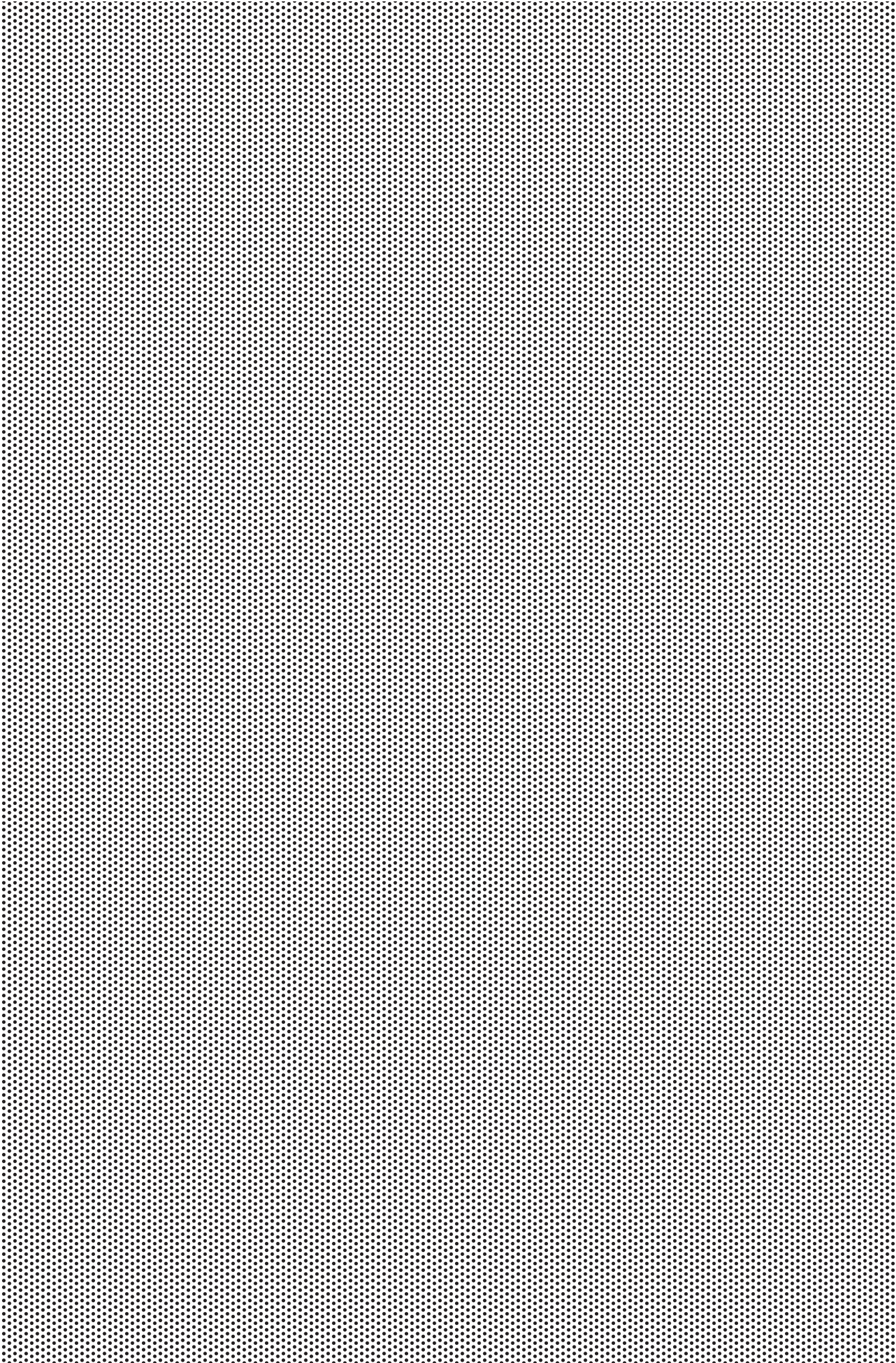
記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)に答えなさい。

(1) モダンテクニックの説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。
ア

- a 切り抜いた印刷物などを画面に貼り込んで不思議な世界を表す技法をフロッタージュという。
- b 水分をたっぷりに溶いた絵の具をつけた筆を、紙などの支持体に直接つけて激しく動かす技法をドリッピングという。
- c ブラシに濃いめの絵の具をつけ、金網の上からこすり、絵の具を霧状に紙などの支持体につける技法をスパッタリングという。
- d 平滑で吸水性のない紙に絵の具を厚めに塗り、同様の紙やアクリル板などを載せて圧力をかけて、はがして、有機的かつ不定形な模様を生じさせる技法をマーブリングという。

(2) 鉛筆デッサンの説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

イ

- a 鉛筆を削るときは、カッターナイフで手を切らないように刃に指を当てないようにして、鉛筆を引きながらカッターナイフを押し出すようにして削る。
- b 描く姿勢は、背筋を伸ばして力が入ってしまうよりは、目線が一定しなくても自然に脱力したほうが描きやすい。
- c 画用紙は、ざらざらしている方が裏である。
- d 球体を立体的に描く際は、球の底の部分はテーブルからの反射光で少し明るいことに注意する。

- (3) 次の作品に用いられている技法として最も適切なものを，下の a～d から一つ選びなさい。

- a 一点透視法
- b 二点透視図法
- c 空気遠近法
- d 色彩遠近法

- (4) 油彩画の説明として最も適切なものを，次の a～d から一つ選びなさい。

- a 油絵の具は重ね塗りによる重厚な表現が可能である。
- b 油彩画の絵の具としては，主に岩絵の具や水干絵の具が使われる。
- c 空気中に気化してしまう粘り気のない油のことを，乾性油という。
- d 揮発性油は絵の具の光沢を奪ってしまうので，いかなるときも単独ではつかうべきでない。

- (5) エッチングの説明として最も適切なものを，次の a～d から一つ選びなさい。

- a インクの通り抜ける穴をつくり，上から刷り込む版画。孔版に分類される。
- b 銅版に直接ニードルなどで描画し，彫った線にインクを詰めてプレスする。
- c 液体グラウンドは彫った線をわかりやすくするために版面に付着させるもので，プレスが終わるまで剥がさない。
- d 腐食時間の長短によって線の濃度が変わる。

2 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 彫刻について、次の①、②に答えなさい。

① 頭像(塑像)の石膏取りをする際に、まず雌型をつくる必要がある。その際、後頭部に切り金を入れ、窓を作る理由として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 石膏を流し込みやすくするため。
- b 後頭部に空気穴を設けて石膏の硬化を早くするため。
- c 粘土や心棒をあとで取り出すため。
- d 金属製の補強棒や針金を後頭部から挿し込みやすくするため。

② 玉眼が使われている作品として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 阿修羅像(興福寺)
- b 薬師三尊像(薬師寺金堂)
- c 薬師如来像(法隆寺金堂)
- d 天燈鬼立像(興福寺)

(2) 次の作品の仏像の種類として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a 如来 b 菩薩 c 明王 d 天

(3) 次の作品の作家の説明として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ケ

- a イタリア・ルネサンスの代表的彫刻家，建築家，画家。ルネサンスの古典主義の完成に寄与するとともに，後半生はマニエリスムやバロックを予告する作品を制作した。「ダビデ」が有名。
- b 19世紀後半にパリで活躍した彫刻家。当時アカデミズムを支配していた擬古典主義に激しく反抗し，ときに彫刻で印象主義を実践した作家として知られる。「考える人」が有名。
- c 19世紀後半から20世紀にフランスで活躍した彫刻家，画家。ゴーギャンやナビ派の影響を受け，最初は絵画やタピストリーを制作していたが，40歳ごろに彫刻に専心するようになり，ロダン以後のフランス彫刻の代表者となった。「地中海」が有名。
- d 明治から昭和期に活躍した日本の詩人，彫刻家。高村光雲の長男として生まれる。ニューヨーク，ロンドン，パリを巡り，帰国後は詩や評論，制作活動を展開した。特に，近代美術の紹介に関して大きな影響力をもった。代表的な彫刻作品に「手」がある。

3 次の(1)～(5)に答えなさい。

(1) 次の作品について説明した文として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- a 故郷のロシアからパリに出てすぐのシャガールは、故郷の風物を追憶のように表現した。
- b 故郷のスペインからパリに出てすぐのシャガールは、自由に空を飛ぶ動物や人間によって重力を超えた永遠の愛を表現した。
- c 故郷のロシアからパリに出てすぐのピカソは、故郷の風物を追憶のように表現した。
- d 故郷のスペインからパリに出てすぐのピカソは、自由に空を飛ぶ動物や人間によって重力を超えた永遠の愛を表現した。

(2) 次の作品A～Dを時代順に並べたものとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

A

B

C

D

- a A→B→C→D
- b A→B→D→C
- c D→B→C→A
- d B→D→C→A

- (3) 次の文中の (A)・(B) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

15世紀初頭頃から、イタリアの (A) を中心に、ギリシア・ローマの古典古代文化を復興する運動であるルネサンスが興った。(B) によって制作された以下の作品はルネサンスの最初期の作品とされる。

- | | | | | |
|---|---|--------|---|--------------|
| a | A | ヴェネツィア | B | マザッチオ |
| b | A | フィレンツェ | B | マザッチオ |
| c | A | ヴェネツィア | B | サンドロ・ボッティチェリ |
| d | A | フィレンツェ | B | サンドロ・ボッティチェリ |

- (4) 次の文中の (A) ~ (D) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

17世紀の半ばごろ、江戸で挿絵（浮世絵）入りの木版本が出版されるようになった。その先駆者である (A) は井原西鶴の『好色一代男』の江戸版の挿絵の原図を担当したことで知られる。(A) は『見返り美人図』を描いたことでも有名だが、これは (B) である。ところで浮世絵は当初、墨一色の墨摺絵が主流であったが、徐々に彩色がなされていく。特に鈴木春信を中心に展開された、豪華な多色摺の版画を (C) という。江戸後期になると、浮世絵画壇では風景画の新境地が開かれた。特に『富嶽三十六景』全46枚揃の作者である (D) が有名である。

- | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|-----|---|------|
| a | A | 菱川師宣 | B | 肉筆画 | C | 錦絵 | D | 葛飾北斎 |
| b | A | 円山応挙 | B | 肉筆画 | C | 紅摺絵 | D | 歌川広重 |
| c | A | 円山応挙 | B | 版画 | C | 錦絵 | D | 歌川広重 |
| d | A | 菱川師宣 | B | 版画 | C | 紅摺絵 | D | 葛飾北斎 |

- (5) 次の文中の (A)・(B) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

セ

テレビが家庭に普及しだした1960年前後には、美術においてもテレビを扱う作家が出てきた。ジョージ・マチューナスによって組織された集団である (A) にも加入していた (B) は、以下のようなテレビをパフォーマンスに取り入れた作品などを制作した。

- | | | | | |
|---|---|---------------------|---|------------|
| a | A | シチュアシオニスト・インターナショナル | B | ナム・ジュン・パイク |
| b | A | シチュアシオニスト・インターナショナル | B | 田中敦子 |
| c | A | フルクサス | B | ナム・ジュン・パイク |
| d | A | フルクサス | B | 田中敦子 |

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)に答えなさい。

(1) 次の文中の(A)～(C)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

色は三つの属性で表すことができる。まず、赤、黄、緑、青、紫といった色味の系統である色相である。次に色の明るさ、白さを表す(A)、そして色味の強さ、鮮やかさを表す(B)である。この三属性に基づいて色を表示する体系の代表的なものとして(C)がある。これは1905年にある画家が案出した表色系が元になっており、日本工業規格で採用されている、最も標準的な表色系である。

- a A 明度 B トーン C オストワルト表色系
 b A 明度 B 彩度 C マンセル表色系
 c A 光度 B トーン C マンセル表色系
 d A 光度 B 彩度 C オストワルト表色系

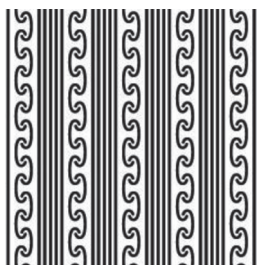
(2) 次の文中の(A)～(C)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

代表的な和文書体のうち、縦線が太く横線が細いうえ、文字の端に鱗がついた書体を(A)という。そして、線幅が均一なものを(B)という。レタリングの際には、見た目のバランスがよくなるように(C)をするとよい。

- a A 明朝体 B ゴシック体 C リガチャ
 b A ゴシック体 B 明朝体 C リガチャ
 c A ゴシック体 B 明朝体 C スペーシング
 d A 明朝体 B ゴシック体 C スペーシング

(3) 次の文様の名前として最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ウ



- a 網干文様 b 麻の葉文様 c 芝翫縞文様 d 唐草文様

(4) ユニバーサルデザインの概念の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。 エ

- a 身体的なハンディキャップをもつ人に対する生活環境上の配慮をしながらデザインすること。
 b 一部の専門家しか使えない高度な機能を追求してデザインすること。
 c 年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人を使いやすいようにデザインすること。
 d 障がい者、患者、高齢者などといったこれまでデザインに携わらなかった人々と協働してデザインすること。

(5) デジタルカメラのセンサーや、フィルムに対して当てる光の量のことを露出というが、以下の三つの写真のうち、Bを適正露出としたときAとCはそれぞれ何というか。語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

オ

A

B

C

- a A オーバー C アンダー
 b A アンダー C オーバー
 c A ハイ C ロー
 d A ロー C ハイ

- (6) 次の文中の (A)・(B) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

カ

新国立競技場などの設計で有名な建築家・(A) は、自然素材を積極的に活用し、外部環境とのつながりを大切にする設計で知られている。以下は彼が設計する2009年にオープンした根津美術館（東京・南青山）の平面図の一部と建物の実際の写真である。写真は、エントランス（▼）から玄関へと続く通路である。以下からわかるように、この建築は (B) が工夫されており、これによって表参道という場所がもつにぎわいと、日本庭園を有する敷地内のしずけさをなじませている。

平面図

- | | | | | |
|---|---|------|---|----|
| a | A | 隈研吾 | B | 採光 |
| b | A | 安藤忠雄 | B | 採光 |
| c | A | 安藤忠雄 | B | 動線 |
| d | A | 隈研吾 | B | 動線 |

2 次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 次の文中の(A)～(C)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 キ

以下の写真ののこぎりは(A)といい、写真上側の刃を(B), 下側の刃を(C)という。

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|-------|---|-------|
| a | A | 胴づきのこぎり | B | 横びき刃 | C | たてびき刃 |
| b | A | 両刃のこぎり | B | たてびき刃 | C | 横びき刃 |
| c | A | 胴づきのこぎり | B | たてびき刃 | C | 横びき刃 |
| d | A | 両刃のこぎり | B | 横びき刃 | C | たてびき刃 |

(2) 次の文中の(A)～(C)に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ク

染織は、染めと織りの工程に分かれる。染めにはいくつかの方法があり、素材を染液につけてある程度内部まで浸透定着させるものである。また文様をつけるために、紙や木、金属などの型をもちいて染料を素材に定着させるものを(A)といい、例えば紅型がある。また、刷毛で染料を塗るようにして定着させるものを(B)という。独自の絵画的表現で有名な(C)は、染めのにじみを防ぐために糊で模様を輪郭を描いたあとに塗染めなどで染めて、そのあとに糊を落として仕上げる。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|-----|
| a | A | 型染 | B | 絞り染め | C | 友禅染 |
| b | A | 友禅染 | B | 引染 | C | 型染 |
| c | A | 型染 | B | 引染 | C | 友禅染 |
| d | A | 友禅染 | B | 絞り染め | C | 型染 |

(3) 次の作品の素材と作者の組み合わせとして最も適切なものを，下の a～d から一つ選びなさい。

- a 鉄 一加納夏雄
- b 青銅 一加納夏雄
- c 鉄 一鈴木長吉
- d 青銅 一鈴木長吉

(4) 七宝について説明した文として最も適切なものを，次の a～d から一つ選びなさい。

- a 金属の下地の上に釉薬をのせて絵付けをし，焼き付ける技法。
- b 貝殻を切り，器の表面に貼り付けたり，象嵌したりする技法。
- c 母材料に色の異なる金属の紋金を嵌め込み，色の違いを出す技法。
- d スポイトなどを用い，釉薬や化粧土を絞り出して立体的な模様を描く技法。

3 次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 次のポスター(部分)のうち、「ヒロシマ・アピールズ」のものとして、適切でないものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a

b

c

d

- (2) 次の文中の (A) ~ (C) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

デ・ステイルは1920年代に (A) において起こった芸術運動で、機関誌を活動の拠点として影響力を誇った。以下の作品で有名な (B) はデ・ステイルの代表的な作家で、造形の純粹性、直観性を重視する理念を掲げた。しかし彼は同じくデ・ステイルの中心メンバーである (C) と激しく対立し、脱退することになる。

- | | | |
|---|------------------|----------------|
| a | A デンマーク | B ラースロー・モホイ=ナジ |
| | C ヨハネス・イッテン | |
| b | A デンマーク | B ピエト・モンドリアン |
| | C テオ・ファン・ドゥースブルフ | |
| c | A オランダ | B ラースロー・モホイ=ナジ |
| | C ヨハネス・イッテン | |
| d | A オランダ | B ピエト・モンドリアン |
| | C テオ・ファン・ドゥースブルフ | |

- (3) 次の文中の (A) ~ (C) に該当する語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

阿波正藍しじら織は、四国の伝統的な (A) である。もともと阿波の (B) 流域は藍の産地として有名であり、この藍を活用して生産された。阿波正藍しじら織の特徴は、「しじら」であり、これは (C) のことである。

- | | | | |
|---|--------|-------|------------|
| a | A 木綿織物 | B 吉野川 | C 細かい波上のしわ |
| b | A 木綿織物 | B 那珂川 | C 渦巻き文様 |
| c | A 絹織物 | B 吉野川 | C 渦巻き文様 |
| d | A 絹織物 | B 那珂川 | C 細かい波上のしわ |

(4) 志野焼について説明した文として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 江戸時代前期に現在の石川県で始められた磁器。色絵や金彩による華やかな意匠が特徴で、代表的な様式に青手、五彩手、金襴手などがある。
- b 12世紀末に、古墳時代からの須恵器窯を起源として現在の岡山県で始められた。一般に「干寄」と呼ばれる粘りの強い田土が使われ、独特な登り窯で焼成される。
- c 16世紀に、朝鮮から渡ってきた技術者が現在の山口県で始めたやきもの。「ざんぐり」と表現される土味を活かすために絵付けはせず、化粧土や釉薬の掛け方、ヘラ目・削ぎ目で装飾を施す。
- d 安土桃山時代に美濃で焼かれた白釉のやきもの。一般に釉肌に細かい貫入や小さな孔が多くあり、釉際や口縁には緋色の赤みが出る。

第3問 次の1～6の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の作品の作者名を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a テオドール・ジェリコー

b ギュスターヴ・クールベ

c ヨハン・ハインリヒ・フュースリ

d フランシスコ・デ・ゴヤ

(2)

a パウル・クレー

b アンリ・マティス

c ジョアン・ミロ

d ジョルジュ・ルオー

2 次の (1)・(2) の作品の作者名を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

- (1)
- | | |
|---------|--------|
| a 長谷川等伯 | b 円山応挙 |
| c 俵屋宗達 | d 狩野永徳 |

- (2)
- | | |
|--------|--------|
| a 東山魁夷 | b 横山大観 |
| c 竹内栖鳳 | d 高山辰雄 |

3 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a アルベルト・ジャコメッティ

b オーギュスト・ロダン

c 佐藤忠良

d 舟越桂

(2)

a アントニオ・カノーヴァ

b ピエトロ・ベルニーニ

c ミケランジェロ・ブオナローティ

d マックス・クリンガー

4 次の (1)・(2) のデザイン, 建築の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- | | |
|------------|-----------------|
| a ル・コルビュジエ | b ヴァーナー・パントン |
| c 柳宗理 | d チャールズ&レイ・イームズ |

(2)

- | | |
|-------------|--------------|
| a フランク・ゲーリー | b ノーマン・フォスター |
| c ザハ・ハディッド | d 安藤忠雄 |

5 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

- a ウィリアム・モリス b バーナード・リーチ
c エミール・ガレ d 富本憲吉

(2)

- a 尾形光琳 b 尾形乾山
c 本阿弥光悦 d 高村光雲

6 次の (1)・(2) の作品の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a バンクシー

c ジャン＝ミシェル・バスキア

b キース・ヘリング

d アンディ・ウォーホル

(2)

a 山口晃

c 梅津庸一

b 会田誠

d 松井冬子

【選択問題 中学校】

第4問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ A ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

・・・(中略)

(ウ) 使う目的や条件などを基に、（ A ）、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。

a 使用する者の気持ち b テーマ c 構想プラン d 造形要素

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ B ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 材料や用具の生かし方などを身に付け、（ B ）に応じて工夫して表すこと。

a 目的 b 状況 c 条件 d 意図

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ A ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

ウ

イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (ア) 構成や装飾の目的や条件などを基に、（ A ）、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。

a 用いる場面や環境 b 歴史的文脈 c 流行やトレンド d 生活環境

- (2) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ B ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

エ

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

・・・(中略)

- (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と（ B ）などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

a 色彩の選択 b 造形上の工夫 c 創造的な工夫 d 文化的意味

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示） 第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕」の一部を抜粋したものである。文中の（ C ）に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

オ

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、（ C ）などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

- a 質感 b 光 c 大きさ d 触感

【選択問題 高等学校】

第4問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術I」の一部を抜粋したものである。文中の（ A ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

・・・中略

(イ) 表現形式の特性を生かし、（ A ），構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

a 形体や色彩 b 技法 c 素材や形 d 視点

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術I」の一部を抜粋したものである。文中の（ B ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

(ア) 感じ取ったことや考えたこと、（ B ）などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。

a 調査結果 b 周囲の意見 c 目的や機能 d 歴史や伝統

- (3) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示） 第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術I」の一部を抜粋したものである。文中の（ C ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。 ウ

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

・・・中略

イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞

・・・中略

(イ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから（ C ）などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。

- a 文化的多様性 b 美意識や創造性 c 作家の個性 d 伝統技法

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第5 美術Ⅱ」の一部を抜粋したものである。文中の（ A ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 絵画・彫刻

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

・・・中略

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) (A) に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すこと。

a 題材 b 主題 c 目的 d 用途

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第5 美術Ⅱ」の一部を抜粋したものである。文中の（ B ）に該当する語句を、下のa～dから一つ選びなさい。

デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 目的や機能などを考えた発想や構想

(ア) 目的や条件などを基に、(B) デザインの働きについて考え、主題を生成すること。

a 機能的 b 人と社会をつなぐ c 社会の役に立つ d 課題解決型の

【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の1～9から一つずつ選びなさい。

③ 合理的配慮の決定方法・提供

(中略)

合理的配慮は、子供一人一人の障害の状態等を踏まえて教育的ニーズの整理と必要な支援の内容の検討を通して、個々に決定されるものである。(中略)

これを踏まえて、設置者及び学校と本人及び保護者により、 を作成する中で、発達の段階を考慮しつつ、次の「④合理的配慮の観点」を踏まえながら、合理的配慮について可能な限り を図った上で決定し、提供されることが望ましい。その内容は、 に明記するとともに、個別の指導計画においても活用されることが重要である。

④ 合理的配慮の観点

合理的配慮については、個別の状況に応じて提供されるものであり、これを具体的かつ網羅的に記述することは困難であるが、中央教育審議会初等中等教育分科会報告においては、合理的配慮を提供するに当たっての観点を、①, ②支援体制, ③施設・設備について類型化した整理が試みられている。

- | | | | |
|---------|-------------|--------|-----------|
| 1 教材・教具 | 2 年間指導計画 | 3 合意形成 | 4 指導要録 |
| 5 効率化 | 6 個別の教育支援計画 | 7 課題解決 | 8 教育内容・方法 |
| 9 障害特性 | | | |

2 次の文は、令和5年3月に厚生労働省より示された「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会 報告書」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、 起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「 」である。

(中略)

によって平成13年に採択されたICF（国際機能分類）では「障害」の背景因子について、 因子と環境因子という観点から説明されている。ICFにおける環境因子とは「物的環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境の特徴が持つ促進的あるいは阻害的な影響力」とされ、強度行動障害を有する者への支援にあたっては、知的障害や自閉スペクトラム症の特性など 因子と、どのような環境のもとで強度行動障害が引き起こされているのか環境因子もあわせて分析していくことが重要となる。こうした個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。

a ごく稀に b 夜間に集中して
c 著しく高い頻度で d 一時的に

a 障害 b 重複障害
c 疾病 d 状態

a UNESCO b WTO
c WHO d IAEA

a 心理的 b 行動的
c 発達 d 個人

a 発見 b 決定
c 把握 d 調整

3 次の文は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示） 第1章 総則 第3節 教育課程の編成」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

カ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、 児童に履修させるものとする。また、 については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

キ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部においては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、 生徒に履修させるものとする。また、 については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

ク 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科の を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。その際、小学部は6年間、中学部は3年間を見通して計画的に指導するものとする。

a 特定の
b 全ての
c 特性のある
d 希望する

a 外国語活動
b 総合的な学習の時間
c 日常生活の指導
d 社会及び理科

a 技術・家庭
b 職業
c 生活単元学習
d 職業・家庭

a 外国語活動
b 情報
c 外国語科
d プログラミング活動

a 見方・考え方
b 段階に示す内容
c 学年の目標
d 配慮事項

4 次の表は、令和5年度の高知県公立特別支援学校中学部、高等部（専攻科を含む）卒業生の進路状況をまとめたものである。

表中の下線部①、②の説明として正しいものを、下のa～eからそれぞれ一つ選びなさい。

	福祉的就労						その他
	①就労継続支援		就労移行	療養介護	②生活介護	自立訓練	
	A型	B型					
高等部卒業生数	6	46	2	0	20	1	57

- a 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行うサービス
- b 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービス
- c 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供するサービス
- d 一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行うサービス
- e 一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス

- ①

セ

- ②

ソ



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 第4問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 7 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。